



# 田原本ふるさとかるた

## かるたDe学ぶ

田原本ふるさとかるたは、町にある有名な遺跡や伝統ある神社、寺などの名所、さらに伝統行事などを題材に作られています。かるたで、郷土を学びましょう。

「田原本ふるさとかるた」は、田原本町観光ボランティアガイドの会「磯城のみち」の発案により、2年の検討を重ね平成21年に完成しました。絵札の原画は、地元画家の岡田晟治さんの水彩画によるものです。「田原本ふるさとかるた」をとおして、町の歴史や文化に親しんでいただきたい、町を好きになっていただきたいという「磯城のみち」の思いが込められています。子どもからお年寄りまで楽しめるよう絵札はA4版サイズ、読み札はA5版サイズにし、町観光協会が貸し出しを行ってきました。

今回、町は「磯城のみち」と町観光協会の協力のもと、小学生が遊びながら郷土を学べる学習資料として活用できるよう、内容・単語を平易なものとし、通常のかるたサイズに縮小しました。



鏡作神社  
鏡をつくった  
神様まつる

### 説明文

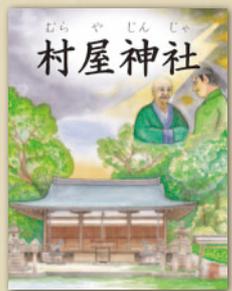
かがみつくりじんじや や お こだい  
鏡作神社は八尾にある古代の鏡作り工人たちの氏神で、鏡作りに関係の深い神様をおまつりした古くからの神社です。神宝として「三神二獣鏡」という古墳時代の鏡が所蔵されています。今も、鏡やガラスの仕事をひとびとに信仰を集めています。



御田祭  
豊作祈る  
牛暴れ

### 説明文

おんだまつり まいとし や お  
御田祭は、毎年2月に八尾の鏡作神社で豊作を祈願して、御田植舞、豊年舞のほか、牛の面をかぶっての牛使いの儀など農作業を演じる農耕神事です。このとき、牛が暴れるほど雨に恵まれるといわれています。神事後、松苗や餅がまかれて、境内は参拝者の熱気で包まれます。(池神社、村屋神社でも行われています。)



村屋神社  
神のお告げの  
壬申の乱

### 説明文

むらやじんじや くらどう  
村屋神社は蔵堂にあって、「日本書紀」に壬申の乱(672年)のとき、大海人皇子(のちの天武天皇)軍に神のお告げを与え、勝利にみちびいたと書かれている歴史のある神社です。境内のイチイガシ(町の木)の森は、県の文化財(天然記念物)に指定されています。「モリヤノミヤ」「モリヤサン」などと呼ばれ、親しまれています。

人の動き 平成25年4月1日現在

人口	32,872人	(前月比 ± 0人)
男	15,728人	(前月比 + 4人)
女	17,144人	(前月比 - 4人)
世帯数	12,165世帯	(前月比 + 22世帯)

資料:住民基本台帳(外国人人口・世帯を含む)

今月の表紙 東小学校の入学式で、担任の先生から名前を呼ばれ背筋を伸ばして起立する新入生。まっすぐと前を見るその瞳は希望に満ちていました。

編集後記

■本年度から広報の編集を担当させてもらうことになりました。初めてのことばかりで、うまくやっていると不安な日々を過ごしています。早く仕事に慣れ、皆さんに分かりやすく、読みたいと思っただけの広報紙づくりに精一杯努力していきますので、皆さんどうぞよろしくお願い致します。 博

■広報編集に携わり2年目を迎えたこの4月、永さんが移動し、私が広報編集の主担当を務めることとなりました。1年間で学んださまざまなことを十分に生かし、新しく配属となった博さんとともに、より親しみやすい広報紙づくりに取り組んでいきます。これからも広報たわらもとをよろしく願います。 昂

